

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市若林区文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 31,286人(前年度比 73.7%) ※令和4年4月1日～令和4年6月30日は令和4年3月16日発生の福島県沖地震の影響により、また、令和4年7月26日～令和5年3月31日はホール天井部材落下破損によりホール利用を休止した。 ・令和3年度 42,478人 ・令和2年度 29,857人	
	《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 166,034千円 (155,093千円) ・ その他市が負担した費用 7,091千円 (76,357千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 12,042千円 (16,856千円) ・ その他収入 529千円 (635千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施(令和4年11月11日～令和4年12月3日) ・「お客様の声カード」の設置(通年) ・利用者懇談会(ミュージックギャラリー)の実施(年1回)	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>条例等に基づき、利用者に公正・公平な施設の貸出を行っている。 コロナ禍においても感染症対策を十分に実施したうえで積極的に運営をおこない、地域住民や地域団体による自主的な文化活動の場の提供や活動を支援している。</p>	24/24
II 施設の運営管理体制	<p>条例等に基づき、利用者に公正・公平な施設の貸出を行っている。 コロナ禍によるイベントの縮小、ニーズの多様化などが求められる中であっても、感染症対策の徹底、オンラインサービスの導入などにより、積極的に事業を展開し、市民の文化活動の提供の場であり続けている。</p>	30/30
III 施設・設備の維持管理	<p>施設・設備の維持管理業務においては、日常の自主点検に力を入れており、危険箇所の早期発見に努め、区への報告も速やかに行っている。また、施設の瑕疵による事故等は発生していない。 環境への配慮についても、仙台市環境行動計画に則り、積極的なごみ減量化・リサイクルに努めている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>財団本部や仙台市の主催する研修等への受講に努め、サービスの質の向上に取り組んでいる。 また、独自のセルフチェックシートを活用し、組織として定期的にサービスの質を見つめなおす機会を設けている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>併設7機関合同での月例連絡会議や、安全安心パトロールなどを実施しており、それぞれの事業に関わる情報交換、事業の共催など、併設機関と連携した施設管理が行われている。 地域の方々が集まる避難所運営協議会などへの参加や、こまめな植栽剪定、清掃の実施など、近隣住民・組織とも良好な関係を築けている。</p>	6/6

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>令和4年度は2年間続いた新型コロナウイルスのパンデミック脱却後の文化・芸術活動機会提供の方法、「アフターコロナ」を見据えての施設運営方法を探ることに腐心し、安全安心を基礎としながら文化芸術施設としての役割を発揮できるよう運営管理業務にあたった。</p> <p>施設維持管理は善良なる管理者としての注意義務を全うし保守点検・小破修繕を行い、良好状態の維持管理に努めた。ホール天井部材落下時には速やかに市関係各所・施設設備業者との連絡調整、施設点検に着手し状況を把握。既申込者への連絡調整等を進めその後の対応方針設定に寄与した。</p> <p>防災危機管理については近隣7公共機関と連携協力し、共同防火管理協議会を設置、災害時の通報連絡や初期消火、避難誘導等を相互に連携して適切に対処できるよう訓練を実施した。またAED操作方法や心肺蘇生方法等の救急救命講習を行い、有事の際のお客様安全確保に備えた。併せて定期的安全パトロールを実施し事故の未然防止に努めた。</p> <p>利用者増進の取組みは、催事入場に制限が残る現環境に即した運営に努めた。定員制限で入場出来ない観覧希望者に向け映像中継コーナーを設けるなど、ライブカメラ等のメディアツールの積極活用を通して当センターが発信する催事の幅広い周知に取り組んだ。また、使用申込の受付窓口においては、施設利用者への事前聴き取りにより附帯設備の使用有無を確認し、使用前に事前の操作方法を確認するなど、利用者がスムーズかつ快適に施設を利用できるように努めた。</p> <p>自主事業については、会場となるホールの休止という環境下、地域の皆様とのつながりを保つことを念頭に、会場を変更し、童謡フェスティバル、吹奏楽フェスティバル等のコンサートを適切規模で全て開催した。</p> <p>以上により管理運営の業務を遂行することができたものと捉えている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>条例及び事業計画書に基づき、適切に施設の運営管理、維持管理を行っているものと評価できる。</p> <p>日頃から、自主点検を積極的にを行い、不具合について早期に発見し速やかに区へ情報提供を行い、適切に管理する体制が整っている。実際にホール天井部材落下時にも迅速に区へ報告がなされ、設備業者や利用者との調整も円滑に行われた。</p> <p>コロナ禍においても、定員制限で入場できない観覧希望者への映像中継コーナーを設けるなどの工夫を行い、利用者へ寄り添った運営がなされており、地域における市民の文化活動の場として応えようと尽力しているものと評価できる。</p> <p>職員の窓口対応等のサービスにおいては、利用者アンケートにより一定以上の評価を得ている。施設利用の申込者へ事前に附帯設備の操作方法をアナウンスするなど、利用者が安心して使用できるよう配慮しており、利用者へのサービス向上に繋がる取組みを行っていることも評価できる。</p> <p>併設機関との関係も良好であり、関係7機関が連携して事業を遂行する関係が構築されている点は評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):若林区まちづくり推進部まちづくり推進課